

令和 8年度予算見積調書

課室名：行政・デジタル改革課
担当名：北部地域拠点調整担当
内線：2138

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
P11	北部地域振興交流拠点整備推進事業			一般会計	総務費	総務管理費	人事管理費	北部地域振興交流拠点整備推進費	
事業期間	令和 8年度～令和15年度	根拠法令	なし			針路	08 支え合い魅力あふれる地域社会の構築	SDGsゴール	8, 9, 11, 16
						分野施策	0805 デジタル技術を活用した県民の利便性の向上	SDGsターゲット	8-3, 9-2, 11-7, 16
1 事業概要 県北部地域においては、若者中心に人口流出が進むとともに高齢化も急速に進んでいる。他方、県北部地域の地域機関は老朽化が進み執務環境の悪化が見られ、加えて従来の発想で建設されているため社会環境の変化やデジタル技術の進展、可変性のあるオフィスへの対応が困難となっている。 こうした課題に対応するため、「地域の活力向上機能」及び「未来の県庁の先行モデル機能」で構成される北部地域振興交流拠点を整備する。 北部地域振興交流拠点整備推進事業 108,698千円				5 事業説明 (1) 事業内容 北部地域振興交流拠点の入札に向けた要求水準書案や実施方針などの作成・公表にあたり、専門的知識・経験等を有する事業者にはアドバイザー業務を委託する。 ※ 債務負担行為の設定 令和8,9年度の2か年で要求水準書等の作成から事業者選定まで一貫して実施するため、令和9年度にかけて債務負担行為を設定する。 (2) 事業計画（最短の場合の想定） 令和8年度：要求水準書案・実施方針の作成・公表 令和9年度～：事業者選定、設計、建設工事（A棟：～15年度、B棟：～12年度） (3) 事業効果 【活動指標(アウトプット)】北部地域振興交流拠点整備に係る要求水準書案及び実施方針の作成・公表 【成果指標(アウトカム)】施設の機能が最大限発揮されることによる ・ 県北部地域の交流促進・活力向上 ・ 効果的で効率的な県行政の推進及び県民サービス向上 (4) 県民・民間活力・職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 サウンディング調査等により競争性が確保される事業条件（要求水準・実施方針）の検討を行う。					
2 事業主体及び負担区分 A棟(地域の活力向上機能)(県37.9/100)市62.1/100 ※面積按分により費用を負担 B棟(未来の県庁の先行モデル機能)(県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×8.0人＝76,000千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との対比
		諸 収 入							
決定額	108,698	48,486						60,212	31,088
前年額	77,610	20,610						57,000	

事業内訳書

事業名	北部地域振興交流拠点整備推進事業		
単位事業名	北部地域振興交流拠点整備推進事業	予算額	108,698千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
諸収入・ 総務管理受託事業収入	48,486	27,876	アドバイザー業務受託事業収入 (熊谷市)
一般財源	60,212	3,212	
合計	108,698	31,088	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	497	497	委員謝金 3回分
旅費	570	△272	先行事例視察 7回分 サウンディング調査、関係団体との打ち合わせ等 8回分
委託料	107,631	30,863	北部地域振興交流拠点整備事業アドバイザー業務委託
合計	108,698	31,088	